

2025 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1 年次/1 年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023 年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/前学期 : /First term/First term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/集中 : /Intensive

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10119904			
科目番号 /Course Number	10160257			
単位数/Credits	1			
授業形態 /Course Type	講義・演習 : Lecture/Practicum			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	現代イスラーム世界の文化と社会（リベラルアーツ・ゼミナール） : Culture and Society of Contemporary Islamic World (Liberal Arts Seminar)			
担当教員名 / Instructor(s)	/(黒田 賢治) : KURODA Kenji			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
			○	
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code	B_PS1220			

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	世界三大宗教の中でイスラーム（イスラム教）は、アジア・アフリカ諸国の人口増加を背景に死ながら急激に信徒数を増やし、存在感を強めている。日本でも近年特に東南アジア出身者などのムスリムと直接接触する機会が増加し、今後さらにその場面が増えることが予想される。しかし歴史的に日本社会で馴染みの薄い宗教であるうえ、イスラーム過激派によるテロ等の発生状況も加わり、イスラームに対する誤解も強化されてきた。本講義では、基礎的なイスラームに関する知識に加え、中東を中心とした世界に暮らすムスリムの営みから、イスラームについて学んでいく。
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	歴史・教義・ムスリムの実際の生活を通じて、イスラームの普遍性と可変性に関する基礎を学ぶ。 現代イスラーム世界の文化と社会の多様な実情に触れる。 グループディスカッションを通じて、解が1つでない問題について複合的に話し合い、異なる意見を尊重しながら共に考える。 無意識に吸収している自らのイスラーム・イメージを改めて振り返り、グローバル時代を生き抜くための他者理解と同時に自身の意見を伝達する方法を身につける。
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	

英	
---	--

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第1回	イントロダクション：なぜ今、イスラームについて学ぶのか
	英		
2	日	第2回	イスラームの基礎的知識：信仰箇条を通じた宗教としての成り立ち
	英		
3	日	第3回	3～7回目の講義については、受講生の関心に応じて以下のトピックから講義を行う。 a. ムハンマドとイスラームの形成、b. イスラームの学問文化（イスラーム法学・神学の基礎、イスラーム神秘主義の基礎）、c. 現代世界とイスラーム復興、d. イスラーム主義、 e. イスラーム金融、f. 食とハラール、g. ムスリム社会の音文化、h. ムスリム社会の視覚文化、i. 日本とイスラーム（前近代、近代、現代）。 その他、講師が対応できる範囲であればトピックに加えます。
	英		
4	日	第4回	3～7回目の講義については、受講生の関心に応じて以下のトピックから講義を行う。 a. ムハンマドとイスラームの形成、b. イスラームの学問文化（イスラーム法学・神学の基礎、イスラーム神秘主義の基礎）、c. 現代世界とイスラーム復興、d. イスラーム主義、 e. イスラーム金融、f. 食とハラール、g. ムスリム社会の音文化、h. ムスリム社会の視覚文化、i. 日本とイスラーム（前近代、近代、現代）。 その他、講師が対応できる範囲であればトピックに加えます。
	英		
5	日	第5回	3～7回目の講義については、受講生の関心に応じて以下のトピックから講義を行う。 a. ムハンマドとイスラームの形成、b. イスラームの学問文化（イスラーム法学・神学の基礎、イスラーム神秘主義の基礎）、c. 現代世界とイスラーム復興、d. イスラーム主義、 e. イスラーム金融、f. 食とハラール、g. ムスリム社会の音文化、h. ムスリム社会の視覚文化、i. 日本とイスラーム（前近代、近代、現代）。 その他、講師が対応できる範囲であればトピックに加えます。
	英		
6	日	第6回	3～7回目の講義については、受講生の関心に応じて以下のトピックから講義を行う。 a. ムハンマドとイスラームの形成、b. イスラームの学問文化（イスラーム法学・神学の基礎、イスラーム神秘主義の基礎）、c. 現代世界とイスラーム復興、d. イスラーム主義、 e. イスラーム金融、f. 食とハラール、g. ムスリム社会の音文化、h. ムスリム社会の視覚文化、i. 日本とイスラーム（前近代、近代、現代）。 その他、講師が対応できる範囲であればトピックに加えます。
	英		
7	日	第7回	3～7回目の講義については、受講生の関心に応じて以下のトピックから講義を行う。 a. ムハンマドとイスラームの形成、b. イスラームの学問文化（イスラーム法学・神学の基礎、イスラーム神秘主義の基礎）、c. 現代世界とイスラーム復興、d. イスラーム主義、 e. イスラーム金融、f. 食とハラール、g. ムスリム社会の音文化、h. ムスリム社会の視覚文化、i. 日本とイスラーム（前近代、近代、現代）。 その他、講師が対応できる範囲であればトピックに加えます。
	英		
8	日	第8回	ミニレポート作成、受講者の関心のあるトピックについて適宜講義担当者が参加しながら討論を行い、グループあるいは個人でミニレポートを作成してもらいます。
	英		
9	日		
	英		
10	日		
	英		
11	日		
	英		
12	日		

	英		
13	日		
	英		
14	日		
	英		
15	日		
	英		

履修条件 Prerequisite(s)			
日	特になし。イスラームや異文化理解に興味のある人だけでなく、専門から遠く事情に疎い学生諸氏の積極的な履修を歓迎します。知識を得るだけでなく、「考える」講義であること、また夏期休暇期間中の集中講義であることを理解して選択してください。		
英			

授業時間外学習（予習・復習等） Required study time, Preparation and review			
日	予習は特に必要ありません。第一日目の最後に第二日目の内容に関わる課題を出します。 本講義に対しては、36 時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。		
英			

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books			
日	（参考書） 小杉泰・黒田賢治・ニツ山達郎『大学生・社会人のためのイスラーム講座』ナカニシヤ出版、2018 年。 西尾哲夫・東長靖編『中東・イスラーム世界への 30 の扉』ミネルヴァ出版、2021 年。 大塚和夫ほか編『岩波イスラーム辞典』岩波書店、2001 年		
英			

成績評価の方法及び基準 Grading Policy			
日	出席は必須です。 講義・ディスカッション時の積極的な発言と、講義時間内のミニレポートを基に評価します。		
英			

留意事項等 Point to consider			
日	本科目は状況により、対面もしくはオンライン授業方式のどちらかとする。参加方法については、履修登録者に別途通知する。 教材の学習、課題提出、自習等を含め、単位習得に必要な学修時間を確保する計画である 2016 年度以前入学の学生は「リベラルアーツ・ゼミナール 6（現代イスラーム世界の文化と社会）」と読替えられる。		
英			